

INSI special seminar

INSI (the Interdisciplinary Network Science for Innovation)

主催「イノベーション創出に向けた異分野融合ネットワーク科学懇談会」

この世界はグラフ構造でできている？ ～ グラフ型データを使いこなす～

日本オラクル株式会社
Big Data & Analytics ソリューション部
エンジニア

山中遼太 博士(工学)

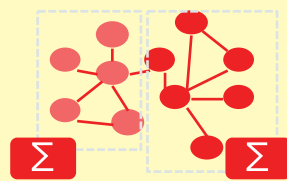
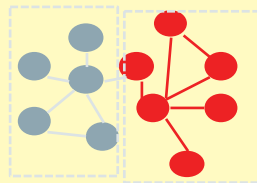
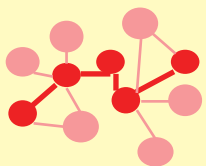
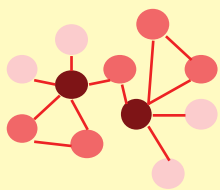
3月6日(火) 17:00-18:00

講義棟K407

ソーシャル・ネットワーク分析や経路探索からシステム生物学までグラフ分析の活用が広がるとともに、パナマ文書データの公開などグラフ・データベースといった技術が注目されています。

グラフ分析やグラフ・データベースとはなにか解説するとともに、みなさまのご研究にご活用頂けるよう、今すぐ使える R パッケージやデータベース (Neo4j と Oracle Labs PGX) をデモを交えて紹介します。

後半では、AI 技術の活用において、グラフ (セマンティック・ウェブや知識グラフ) のデータ構造の変換や、機械学習との併用をどう進めていくことができるか、進行中のプロジェクトを紹介しながら議論します。



演者紹介: 山中遼太

オラクルのコンサルティング部門にてデータベースのエンジニアとして従事した後、退職してバイオインフォマティクスとゲノム科学の学位を取得。その後、日本オラクルに復帰し、現職にて機械学習やグラフ分析の製品担当として、ビッグデータ活用ソリューションの提案をリードしている。